

(財)日本農業研修協力団収支報告

1997年4月~1998年3月 (単位千円)

1. 収支の部

①基本財産運用収入	186
②支援者寄附金	5,392
③公的機関よりの寄附金	
助成金・支援費	12,915
④財團設立者寄附金	4,100
⑤その他の収入	104
⑥前期よりの繰越金	1,859
合 計	24,556

2. 支出の部

①国内事業費	2,358
②国外事業費	14,929
③国内事務局運営費	4,711
合 計	21,998

3. 次期への繰越金

4. 支出報告に関する留意事項

- 収支の部の支援者寄附金は602件あった内、維持費と使途指定事業費の金額を計上。
- 上記支出の他、「ジャイチ基金」への指定寄附金及び、無指定寄附金の半分3,830千円を基金として積立。

昨年の十一月末カトマンズからの帰国便でのことである。隣りあわせた方と接続代わりに、お互いのネバール訪問の目的について話題をなげかけている。そのことについて紹介をしてみたいと思う。

そのお隣の方をAさんとしよう。Aさんは災害でつぶれて無くなってしまった学校を建てる為にネバールに出かけたと

いう。きつかけとなるものは、Aさんのご主人の仕事の関係で知り合ったネバール人(以後Nさんと呼ぶ)

からの話である。それで、初めてのネバールに友人と出かけたのである。目的の学校建設はどうなつたのか

どううと、既にイギリスのNGOが関わって建て替えた

Nさんは、つい最近までネバール政府の要職についていた方で、ご主人の友人でもあり、信頼のおける方だという。しかし、私はAさんとの話を聞きながら聞くところにひつかかりを感じはじめていた。例えば、Nさんが事前にイギリスのNGOが集めてて

名揚活動をしないのか? これが、事前にイギリスのNGO

が、事前にイギリスのNGO

が再建を始めているとい

う情報をつかむことが出来た。それからどうしたのかと尋ねると、Nさんの手

て、カトマンズ市内の学校を訪問して、日本から持参したノート、鉛筆等を用

呈したら、学校あげての大歓迎を受け、とても感激を

しているという。

支援・援助での課題

田山 豊実

始まっていたという。私はその話を聞いて、雖然とした。それからどうしたのかと尋ねると、Nさんの手

て、カトマンズ市内の学

校を訪問して、日本から持

参したノート、鉛筆等を用

呈したら、学校あげての大

歓迎を受け、とても感激を

しているという。

Oが再建を始めているとい

う情報をつかむことが出来

た。それからどうしたのか

なかつたのか? ということ

はないので、予め了解済の

事なしかもしれないと思

い。Aさんにこの一連のこ

とをどう思っているのか聞

いてみた。Aさんの話ぶり

からすると、行き違いがあ

ったのは、發展途上では

どうするのか? 今た結論

がみいだけないでいる私で

ある。(東京都大田区)

支援NGOに足を突っ込ん

いでなければ、それは運が

悪かったですね。でも、持

つて来られた支援品が無駄

にならずに、悩んでもらえ

て良かったですね等とAさ

んが話してくれた話で

良かっただかも知れ

んに同調していたかも知れ

ないのであるが、可

能な子だ。学校へ通える

支援とかはどうあれば良い

か模索し始めた時でもあ

る小さな部落の、学校の

活動を起こさうにあたって

は特に慎重な確認調査が必

要たとの認識はなかつたの

だろうか? もう一つは何故

Nさん自信が

自國の為にネ

バール人の仲間を集めて

名揚活動をしないのか?

どうするのか? 今た結論

がみいだけないでいる私で

ある。では、自分の課題を

五年後私は答ました。

「ナル君の成績表が、こ

の一年、学校側から直接に

お電話になつていて、ネ

バール人から言われ、現地

まで見に行き、どう対応し

里親だより

「ナル君」

中山かほる



アルфонス・トラチャン氏とナル君

御さんも養子に出して良いと言つてゐる。」

ネバールの生活やその他いろいろ聞き、小林夫妻のネバールへの意気込みに感銘致しました。

ナル君の性はさて置き、何か役に建てるとは無いかと考え、出来る範囲で、足長さんを申し出ました。

武石村ジャイチの菊池さんから「金錢だけの付合いでなくネバール送行会つてやつて下さい」と良く言われています。その内に行きたいと思つています。

カトマンズ在住のアルジ

・アカデミーの五年生です。

学校が休みになると(二週間・二ヶ月)その時はフ

クチニの家族の元か、カトマンズのサンセット・ビューホテルへ行き、遊びな

がらホテルの手伝いをして

いるようです。

一九九七年一月にナル君

の父さんと武石村ジャイ

チの菊池さん宅で会う機会

が有りました。お互いに言葉

は通じません。手振り、身振りでした。

ナル君の手紙は、アルジ

・トラチャンさんのアヌ

ンの書で届きます。

「ナルは卒業」アルジ

ンさんの言葉を思い出し、

幸運にさせて貰つて

いるのですが、本当に喜んで

お祝いを

いた

貴方で良かった。あの子も

本当に喜んでる。

「ナルは、勉強が好きだ

けれど学校へ通えない。可

能な子だ。学校へ通える

事

足長おじさんを初めて四年の月日が過ぎた。

彼は、十三才「ナル・ブルサド・タカリ」ボカラにいる、ジュニア・シチズン・アカデミーの五年生です。

入学当初からワクチエの親元を離れ一人ボカラで寄宿舎生活を送っています。この一年は学校側から成績表が直接、日本の里親迄送

られて来ます。里親の話は、一九九四年の事です。

小林夫妻(宝文社・社長)が何日かのネバール旅行に連れてきました。ナル君の子供を育てて、東京の小林邸に滞在した折、話して下さったこと。

「ナルはとても幸せだ。」

(東京都文京区)

輸送費カンパご協力のお願い

下記の依頼記事が該当いたしました。

中古衣料は約100トン集まりましたが、神戸港へモンゴルまでの輸送費（ダンボール1箱につき2,000円がかかる）が不足しているとのことです。ジャイチも輸送費と保管場所で苦労しています。社人事とは思えず、ご協力可能な方、直接アセックへお願い致します。

モンゴルでは貧困が理由で、路上生活を余儀なくされている子どもが急増しています。1年の3分の2が寒風以下で、真冬の夜は氷点下40度にもなるため、こうした子どもたちはスチール管が通るマンホールのなかで宿泊したりしています。その数は数千人にもなるといいます。

掲載先

郵便振替口座番号 D1190-6-15837

加入者名 アジア・アフリカ環境協力センター
詳しくは下記までお問い合わせください。

アジア・アフリカ環境協力センター（アセック）
〒650-0023 神戸市中央区栄町通3丁目1-7
TEL 078-392-3986 FAX 078-392-2461

西暦・ネバール暦転換表

西暦 1998年7月1日～1998年12月31日
ネバール暦 2055年3月17日～2055年9月16日

日本の生活は、西暦と年号で動いています。ネバールは、ヴィクラム（Vekram）暦。日本とは約3ヶ月半のズレがあります。ご参考に。

○印は休日

	日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月
西暦 1998年7月1日～31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
ネバール暦 2055年3月17日～4月15日	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 34 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
西暦 1998年8月1日～31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
ネバール暦 2055年4月16日～5月15日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
西暦 1998年9月1日～30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
ネバール暦 2055年5月16日～6月14日	16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 34 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
西暦 1998年10月1日～31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
ネバール暦 2055年6月15日～7月14日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
西暦 1998年11月1日～30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
ネバール暦 2055年7月15日～8月14日	15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 34 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14
西暦 1998年12月1日～31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
ネバール暦 2055年8月15日～9月16日	15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 34 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

空港往復の日本国内交通費

●費用 二十九万円 全ての旅費、宿泊費、食事代が含まれています。参加者がこの他に用意する費用は、

各日本の空港へ。

●費用 二十万円 全ての旅費、宿泊費、食事代が含まれています。参加者がこの他に用意する費用は、

◆お知らせ

●旅程 成田・名古屋・関西・福岡の各空港から香港空港へ集合。同日カトマンドゥ空港へ移動し、カトマンドゥと移動して、二十一日午前発で香港へ。二十二日午前香港より、

●費用 一月十日（月）～十一月二十二日（日）八泊九日（金）～十二月二十四日（日）

第九回 JAIDI ネバールの農場と学校訪問の旅参加者募集

今年も左記のとおり実施

致します。

募集中希望の方、お問い合わせの方、ジャイチ

事務局までご連絡下さい。

●申込先

増角寺 高島猪俣 菊池 宮行 増田 長野県北佐久郡立科町

内連携員です。よろしくお願ひします。

理事長

副理事長

常務理事

事務理事

物故者のお知らせ

支援者のなかで、当方で把握している物故者を掲載致します。

ご冥福を祈りますと共に、

お詫び申し上げます。

坂本誠治 一九九七年

宮坂正昭 一九九八年一月

石上慶男 一九九九年三月

田中良一 一九九七年十一月

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を作りたいと願っています。

販賣されている財源その他について説明を致します。ご協力をお願ひ申し上げます。

1. ジャイチ基金……財團法人ジャイチの基本的財源の確保

基金を信託銀行、開業等で運用し、その収益（利息）でジャイチ活動の基本部分を確保することを目的としています。果樹のようなものです。

基金が大きくなればなるほどジャイチの財源が安定します。

基金へ寄附して頂いたお金は何十年何百年あとまでジャイチと共に活動の魂が残ります。

2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費

基金から生み出される財源では只今多くのところ活動に不足を来たします。そこで必要な活動に使わせて顶く目的のものです。一年度のような春植えで秋に収穫して終わります。当分の間、この維持費はジャイチの活動に欠かせない費用です。

3. ジャイチ事業費

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応接費用として確保することを目的としています。

通常の予算（ジャイチ基金の米糞、ジャイチ維持費で組まれる）では使いきれない時に皆様に同時に集める目的費です。

必要な時に皆様にご協力をお知らせをさせて頂きます。

ジャイチでは上の3つのようない形でご寄附をお願いしております。何にご寄附下さったのか、教えて頂きますと幸いですが、もしも特に指定のない場合は基金と維持費に半分ずつ使わせて頂きますのでご了承下さい。

掲載先 番号：郵便番号 00510-466434

銀行名：八十二銀行丸子支店（新）420577

口座名：財團法人日本農業研究開発機構

住所：〒386-0502 長野県北佐久郡武石村沖456

電話：0268-85-3465 FAX：0268-85-3583

尚、金額に関しては規定がございませんので、お掛けお掛けご自分でお決め下さい。どうお願い申し上げます。（例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的な考えは如何でしょうか。）

編集後記

右記のとおり予定をしております。詳細は、期日間近になりましたら、事務局までご連絡下さい。

御礼申し上げます。

日本での急激な成長には、本誌十二号の折の萬志家から、本号の郵送料についてもご寄附を頂きました。表も裏もあつたようだ。この頃は、あちこちで示せが出てきた。経済にしても環境問題にしても、憂うつになる話ばかりだ。お金や便利さばかりを求めて続けた結果だろう。

車の排気ガスでないぶん空気が悪くなってきたらしい。投資や援助による危機感などは反動が大きいように思ふ。友情と信赖の上に立った息の長い活動でなければならぬ。（武石村 憲）